

明るく楽しく厳しく



【学校教育目標】基礎力・思考力・実践力をもち、支え合いの中で躍動して学び続ける生徒の育成

【めざす学校像】生徒自ら学びをイノベーションするコミュニティ・スクール「ささやま」

☑わやかな環境 ☑さえあう集団 ☑くどうする授業 ☑ごころで向き合う生徒・大人

※スマートフォン、タブレットでQRコードをかざすと、篠山中学校ホームページにアクセスします。

踏まるとも 根強く生きる道草の やがて花咲く春も来るらん

卒業証書授与式まであと9日になりました。

3年生の皆さんは、「流星群 ～大空一面に 光り輝く～」の生徒会スローガンのもと、多様性を認め、個性を發揮しながら、令和最初の1ページに躍動感あふれた足跡を残してくれました。

「失敗を恐れず挑戦する勇氣・団結力」これは、篠山の歴史と伝統の中から生まれた篠山中学生がもつ宝物です。総合体育大会、腸炎がはやるアクシデントもありましたが、仲間と支え合い、市大会をはじめ丹有大会、県大会、全国大会で篠山中学校ここにありという結果を残しました。体育祭では、クラスの皆が笑顔で行った応援も素晴らしく、人の絆の強さを感じました。文化祭では、心の底から声を出し

てつくりあげた合唱や演劇は、非常にレベルの高いものでした。生徒会が中心となった人権ミライエ・プロジェクトでは、ボランティア活動を行い人権フェスタで発表をしました。皆さんの優しい気持ちに対して、高い評価をしていただきました。

いよいよ義務教育という温室からの旅立ちです。春になると華やかな花を咲かせる桜の木も、厳しい冬の寒さを堪え忍んではじめて美しい花を咲かせます。時には失敗もしても、失敗から学び、人としての根をはってください。



【卒業式に向けて栽培したサイネリアと中庭の梅】

第3回「四つの力委員会」を開催しました

2月19日(水)、生徒会と学校運営協議会が学校づくりについて話し合う「四つの力委員会」(生徒・保護者・地域の方・教職員)を開催しました。新生徒会役員が4つのグループに別れ、司会進行を担当し、①全員が集中して授業に取り組む環境をつくる、②生徒主体で行事を進める、③一人一人が家庭で予習・復習に取り組む、④生徒全員が丹波篠山の歴史について理解できる学校の四つのテーマについて、グループワークで課題や改善策を検討しました。

その中で、学習面では、目的ある対話活動の充実、家庭学習をする目的の啓発、家庭学習における自己評価の基準の作成、地域人材の活用、生徒会活動等では、生徒会縦割り班活動の実施、部活も含め地域資源の活用や挨拶運動の継続など、次年度教育活動への提言が得られました。



【新生徒会役員と地域の方がグループワーク】

学校評価について

2月19日(水)に開催された学校運営協議会において学校関係者評価をしていただきました。次年度の改善の柱とあわせて学校評価を公表します。評価を踏まえた次年度の重点的な取組は以下の四点です。

(詳細はホームページで公開しています <https://sasayama-jh.sasayama.jp/hyouka/>)

学習指導

- ・ 篠中授業スタンダード（①見通しのある予習、②書くことによる個人思考、③対話による集団思考、④修正・推敲による振り返り）による授業改善をめざし、公開授業や授業研究会を行った。目標、授業の流れ等の効果的な提示を行い、生徒が見通しを持って取り組める授業改善を進めることができた。生徒の87%が授業が分かる。96%が対話、発表があると回答しており、対話がさらに深い学びへとつながるよう、Output(書く、表現する、修正する)を重視する授業を一層推進する。
- ・ 予習・復習をする生徒は全国的な傾向より高いものの、64%であり、家庭学習習慣の確立を図るために、教科間の連携を図りながら、系統的に予習・復習の課題を出題する。

生徒指導

- ・ いじめを積極的に認知し、早期対応が概ね実施できたが、部活動中のいじめの指導が継続中である。生徒会や部活部長会による生徒の自発的な活動を活性化させる必要がある。警察署、弁護士、大学教授など様々な立場の人材を活用し、情報機器の取扱いについて講演を行うことができた。一方で、肖像権など新たな課題が出てきており、入学式、参観日などで啓発をしていきたい。
- ・ 他者や自己と対話する道徳の時間をローテーションで指導し、全職員で授業と評価の研究を推進した。本校の授業スタンダードも踏まえつつ、「特別の教科 道徳」について授業研究を継続する。

地域連携

- ・ 地域貢献活動・人権啓発活動「人権ミライエ・プロジェクト」を企画し、生徒が積極的に参加した。丹波篠山ふるさと大使による講演会を実施した他、音楽の授業における和楽器、保健体育における薬物乱用に地域人材を活用できた。今後も授業支援を中心に地域人材の活用を進める。

業務改善

- ・ 部活動ガイドラインに基づき、週2回（木曜日と土日いずれか）のノー部活動を完全実施した。しかし、中体連以外の大会など課題もあり、月平均で実施している。部活動の休養日のあり方について、生徒負担軽減の観点からさらに保護者に周知する。

3月4月の行事予定については、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休校のため、ホームページに後日掲載します。



暖冬で心配されたスキー学校も実施できました

